



# ARIMINO BLEACH GUIDE BOOK

BLEACH 120 | BLEACH OX 6% | BLEACH OX 1%



アリミノ  
スキン クレンジング

石けんタイプのふき取り化粧水  
200mL



アリミノ  
スカルプオイル

頭皮保護オイル  
150mL



アリミノ  
スキン プロテクトクリーム

皮膚保護クリーム  
90g



ティントエスケープ

脱色・脱染剤 医薬部外品  
150g



アリミノ  
カラートレーニング クリーム

塗布技術練習用クリーム  
1000g

## 使用時のご注意

ご使用の際は脱色・脱染剤(第1剤)の使用上の注意をよく読んで、正しくお使いください。

- 過硫酸塩配合の製品でかぶれたことのある方には絶対に使用しないでください。
- 本品は過硫酸塩配合の製品で、アレルギー反応をおこすことがあります。
- 1剤:2剤 = 1:2でご使用ください。2剤の比率を下げると薬剤の粘度が高くなり、ブリーチ力も下がります。
- 混合直後すぐに塗布してください。時間とともに、ブリーチ力が弱まります。

## ※塗布前のストランド(毛束)テストのすすめ

前回のカラー剤の種類によっては、希望の明るさにならないケースがあるので、髪の履歴を的確に見極める必要があります。デザイン的にあまり影響されない後頭部内側から毛束を取り、ブリーチ剤を塗布しホイルで包み、15分前後放置、リフト力を確認します。

OFFICIAL HP  
COLOR WORK SUPPORT TOOL



Instagram  
ARIMINO professional account



**ARIMINO**

株式会社アリミノ

お客さま窓口 0120-945-334

受付時間/9:00~17:00(祝日、年末年始を除く月~金曜日)



# ARIMINO BLEACH LINEUP

ヘアカラーニーズが多様性をみせており、サロンカラーデザインの表現幅が求められています。

「アミノ ブリーチ 120」は、高性能のブリーチ力・リフトスピードが魅力。

しかし、施術状況によって時間コントロールやダメージに不安を感じている方も。

リタッチ時には繊細な操作性も欠かせません。

「アミノ ブリーチ OX」は、「アミノ ブリーチ 120」の放置時間・操作性・ダメージ配慮に対応。

「アミノ ブリーチ」で精度が高く、幅広い表現力のサロンカラーデザインをサポートします。





# PRODUCT

高性能のブリーチ力とクリーミーな操作性、  
ムラになりにくいパウダーブリーチ

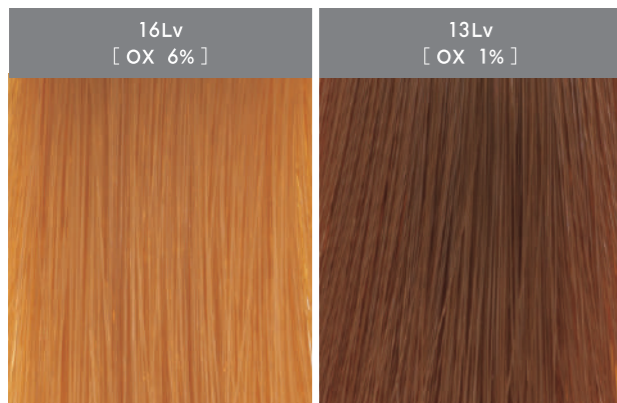


## アリミノ ブリーチ 120

脱色・脱染剤 / 過硫酸塩配合  
500g 医薬部外品

新生毛をしっかり明るくできる、  
高性能のブリーチ力

過硫酸カリウム×過硫酸アンモニウム配合の独自バランス。  
ハイトーンを表現できる、確かなブリーチ力。  
2剤でコントロールすれば、明るさの表現幅が広がります。



クリーミーで塗布しやすい、  
きめ細かなパウダータイプ

ダマにならずに混ざりやすく、粉が舞いにくいパウダー設計です。  
2剤と均一に混合できるため、  
ムラのない安定したブリーチ力を発揮します。



ハイブリーチから脱染まで  
きめ細かく対応する「アリミノ ブリーチ OX」



リタッチブリーチの脱色・脱染力を  
制御するブリーチ用2剤

## NEW アリミノ ブリーチ OX 6%

酸化剤 / 過酸化水素配合  
1200g 医薬部外品



脱色・脱染力を最低限に  
制御するブリーチ用2剤

## NEW アリミノ ブリーチ OX 1%

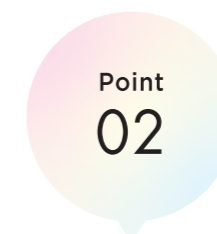
酸化剤 / 過酸化水素配合  
1200g 医薬部外品

アリミノ ブリーチ 120 × OX 6%・1%で  
均一なベースづくりをサポート



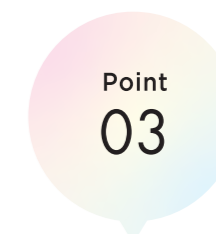
### ブリーチ力

2種類のOXで  
様々な履歴に対応



### 操作性

ブリーチワークを  
追及したクリーム



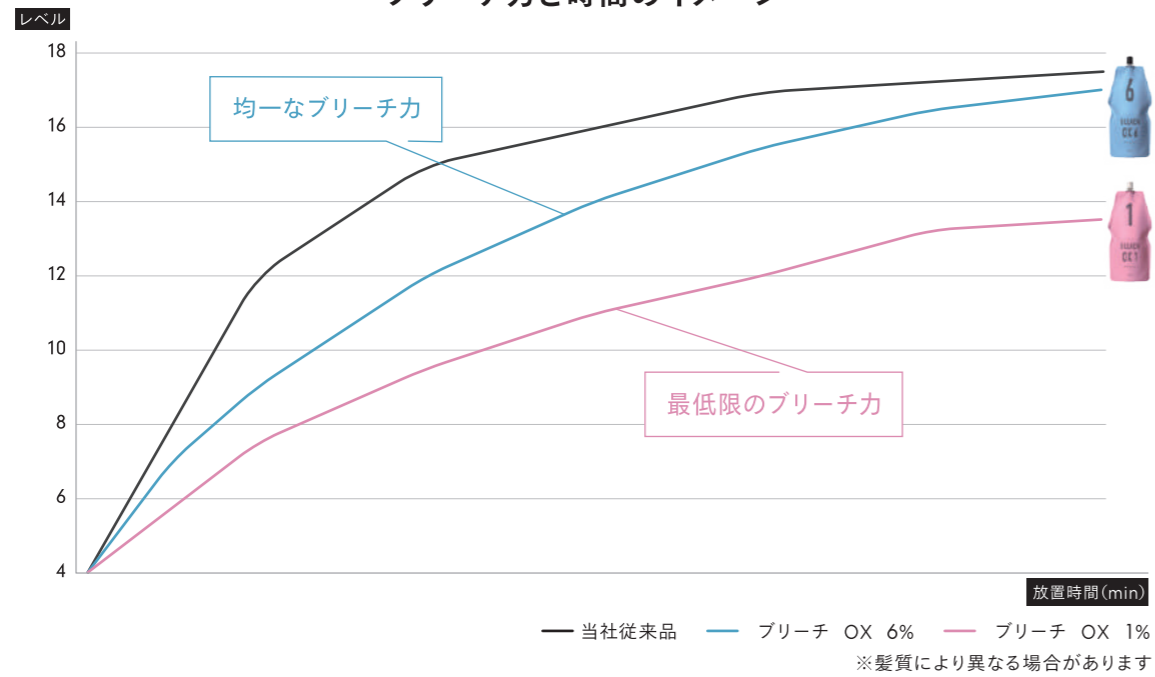
### ケア力

適度な反応や  
塗布時の摩擦を軽減

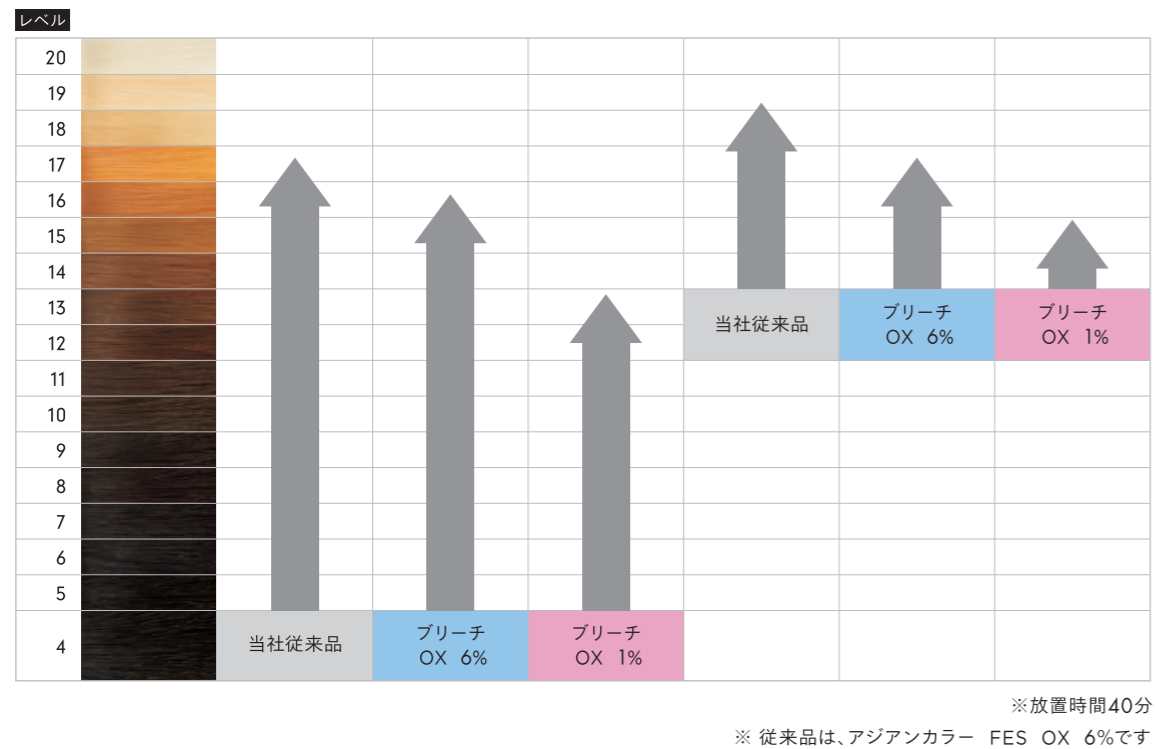
# BLEACH DATA

Point 01 ブリーチ力

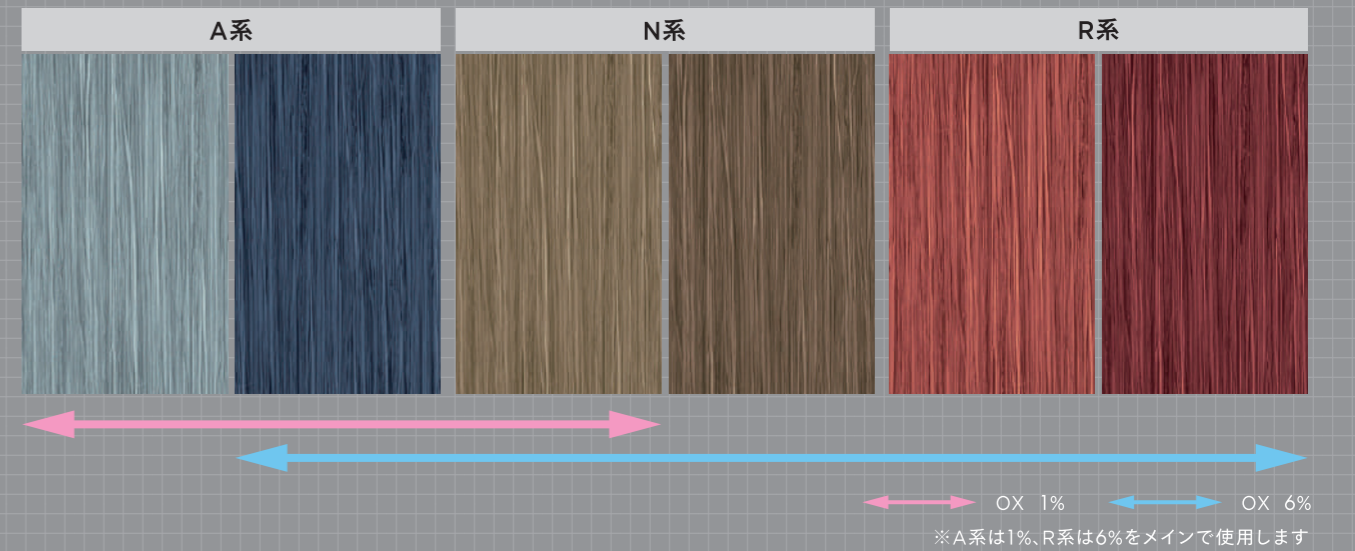
## ブリーチ力と時間のイメージ



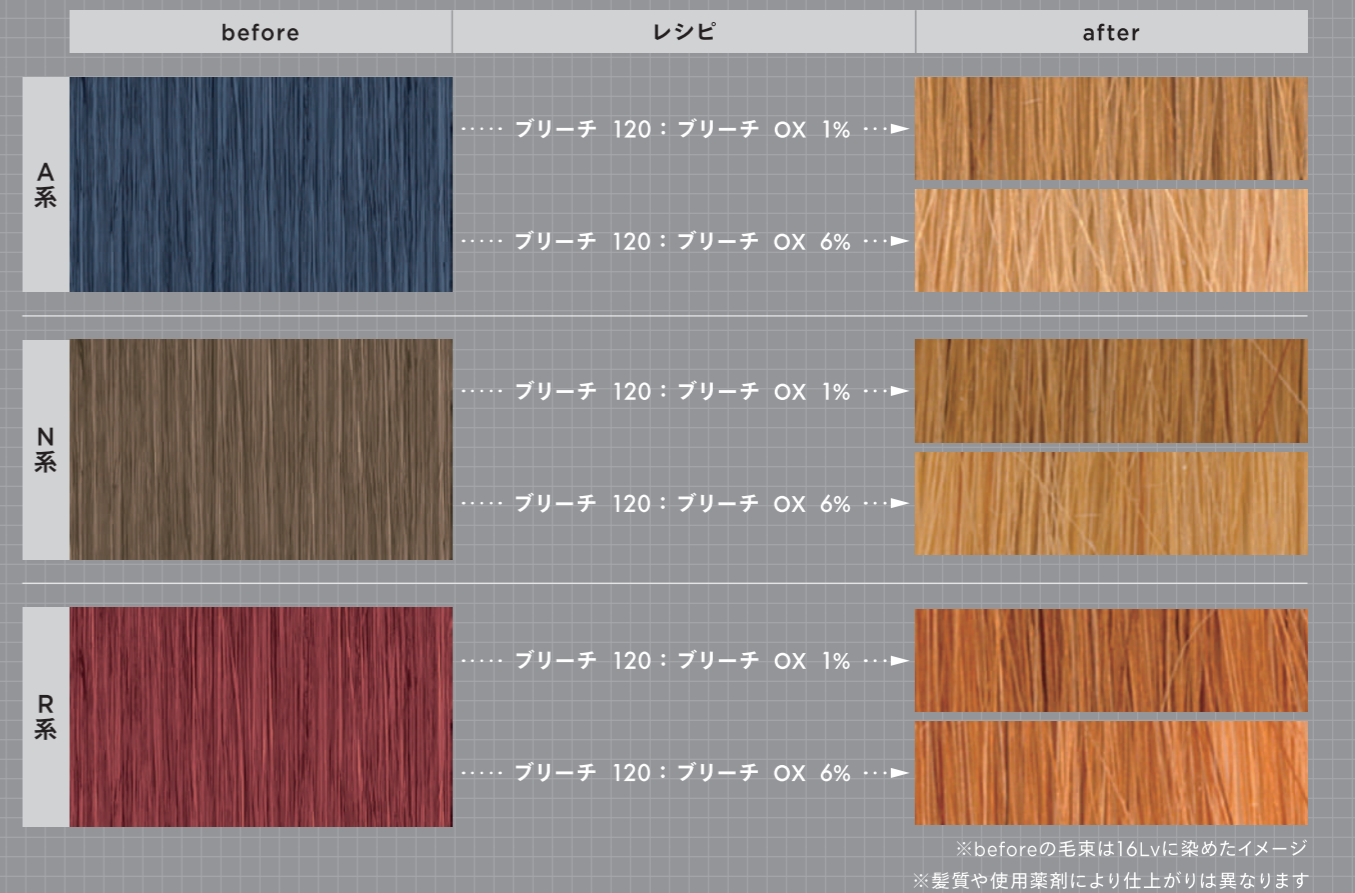
## 施術前の髪の明るさによる仕上がりレベルイメージ



## 残留色素に合わせた脱染薬剤選定イメージ(2剤)



## 色調による脱染力イメージ



### 薬剤調合について

[ブリーチ 120] : [ブリーチ OX (6% / 1%)]  
1 : 2

### 放置時間

自然放置 10~40分

# BLEACH DATA

Point  
02

## 操作性

使用場面に合わせた粘度設計



**6%** 新生部へとどまり、リタッチに最適。  
また塗布時のコーミングが快適。



**1%** 既染部へなじみ、  
スピーディーな塗布に最適。

3種類の油を最適な配合比率で混ぜブリーチワークに最適なクリームに

OIL  
1

流動  
パラフィン  
(エモリエント剤)

新生部に  
優先的に浸透

OIL  
2

ミリスチン酸  
イソプロピル  
(エモリエント剤)

ブリーチ剤と相性が良く  
粉感を感じにくい

OIL  
3

パルミチン酸  
2-エチルヘキシル  
(エモリエント剤)

乾きにくく  
クリーム感を維持

Point  
03

## ケア力

メカニズムに合わせたケア配慮

過度なアルカリを抑制(アルカリモデレート 機能)

酸によって過度なアルカリを緩衝することでブリーチ塗布直後の過剰な反応を抑制し、長時間放置での施術が可能に。

毛髪内金属による過剰な反応を抑制(キレート効果)

毛髪内金属の影響による過剰な酸化反応を抑制し、それによって起こる発熱や膨潤、液状化に配慮。

表面をコートし、塗布時の摩擦を軽減

ポリマーが毛髪表面を覆い、絡まりや摩擦を軽減する。

毛髪保護成分配合 アミノ酸プレックス(L-グルタミン酸) 毛髪内酸性アミノ酸の一種であり、毛髪内部の隙間を埋める。

# BASIC PROCESS

|         |                       |          |                 |
|---------|-----------------------|----------|-----------------|
| STEP 1. | カウンセリング               | STEP 7.  | 放置(常温)          |
| STEP 2. | 薬剤選定                  | STEP 8.  | カラーチェック         |
| STEP 3. | プロテクト(頭皮:プロテクト・髪:前処理) | STEP 9.  | プレーンリンス         |
| STEP 4. | セクショニング               | STEP 10. | シャンプー・プレーンリンス   |
| STEP 5. | 薬剤調合                  | STEP 11. | トリートメント・プレーンリンス |
| STEP 6. | 薬剤塗布                  |          | ドライ / オンカラー施術へ  |

# POINT & FAQ

均一なブリーチベースをつくるためのポイント

第1剤と第2剤の比率について

Q. 1:1や1:3の場合は  
どうなりますか?

A. 比率を変えることで、希望明度への到達が不十分、髪が過剰なダメージを受けることが稀にございます。  
比率は1:2でのご使用をおすすめします。

放置の方法について

Q. 加温することで  
より明るくすることはできますか?

A. 必ず常温でご使用ください。  
ブリーチの加温は、過度のダメージ、断毛、頭皮トラブルにつながる場合があります。  
※加温施術は承認外となります。

セクショニングについて

Q. 一人塗りでリタッチする場合におすすめの  
セクショニングはありますか?

A. 前後左右でわかる4セクションがおすすめです。  
トップ部分が他より明るく、ダメージがある場合には5セクションでの塗布もおすすめです。

カラーチェックについて

Q. おすすめのカラーチェックの  
方法を教えてください。

A. 薬剤が髪についた状態では  
正確なカラーチェックが行えません。  
コットンなどでブリーチ剤をやさしく拭き取ってから、  
チェックを行ってください。

ストランドテストについて

Q. 脱色や脱染前に行うストランドテストの  
方法を教えてください。

A. 全頭施術の事前に2~3ヶ所、ブリーチ剤を塗布・15分  
程度放置後、薬剤を拭き取ります。  
残留色素の有無・程度を確認し、  
施術プロセス・使用薬剤決定の判断材料にします。

アフターシャンプーについて

Q. シャンプーは1シャンプー、  
2シャンプーどちらがおすすめです?

A. 2シャンプーがおすすめです。  
シャンプーだけでなく、その後のプレーンリンスも  
丁寧に洗い、薬剤を洗い流すことで、  
髪の負担を抑えられます。

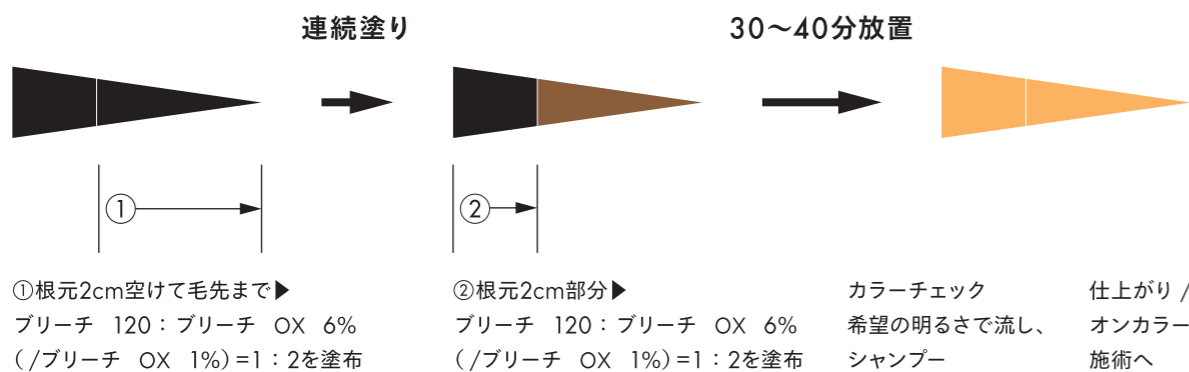


# CASE STUDY-1 脱色編

CASE.

1

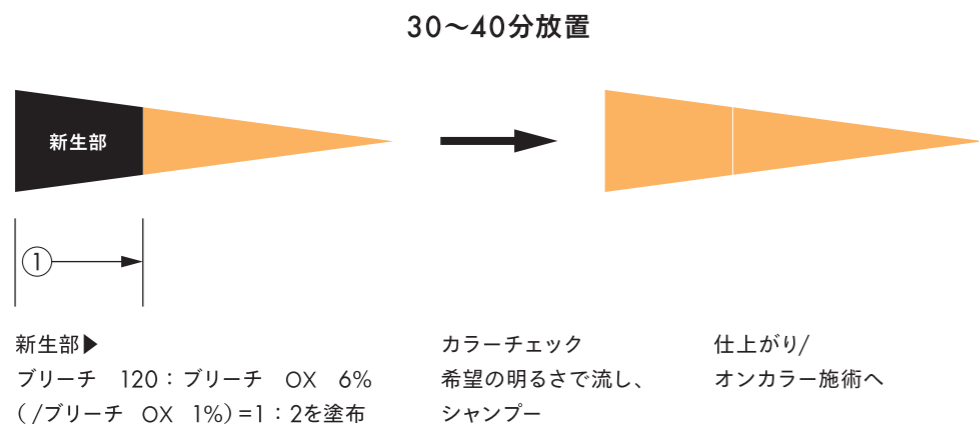
## バージン毛のトーンアップ



CASE.

2

## (ショート)リタッチ (~2cm)



### 脱色薬剤選定目安表

小 ← 脱色力 → 大

(40分放置)

| Lv       | 13                             | 14~15                                   | 16                             |
|----------|--------------------------------|---|--------------------------------|
| 使用薬剤     | ブリーチ 120 : ブリーチ OX 1%<br>1 : 2 | ブリーチ 120 : ブリーチ OX 6% (/OX 1%)<br>1 : 2 | ブリーチ 120 : ブリーチ OX 6%<br>1 : 2 |
| 仕上がりイメージ |                                |   |                                |

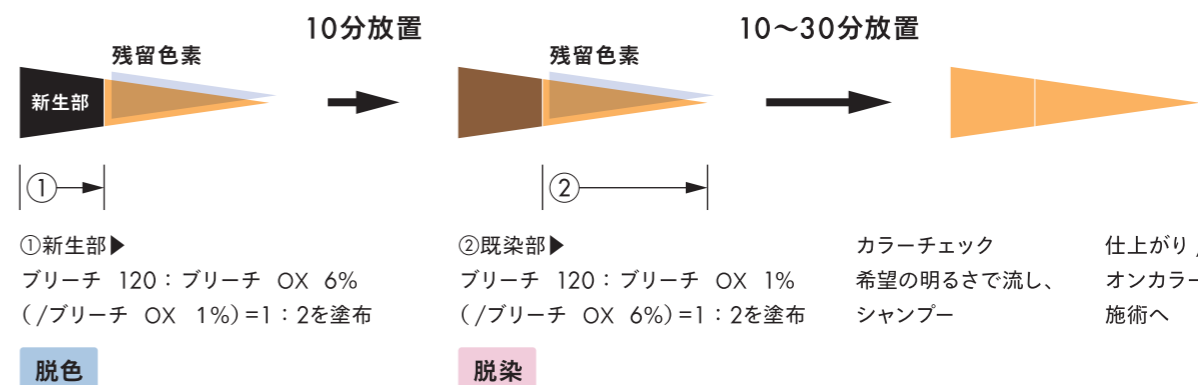
17レベル以上をお求めの場合は髪のコンドーションを確認後、再度ブリーチ施術を行います。

# CASE STUDY-2 脱染編

CASE.

1

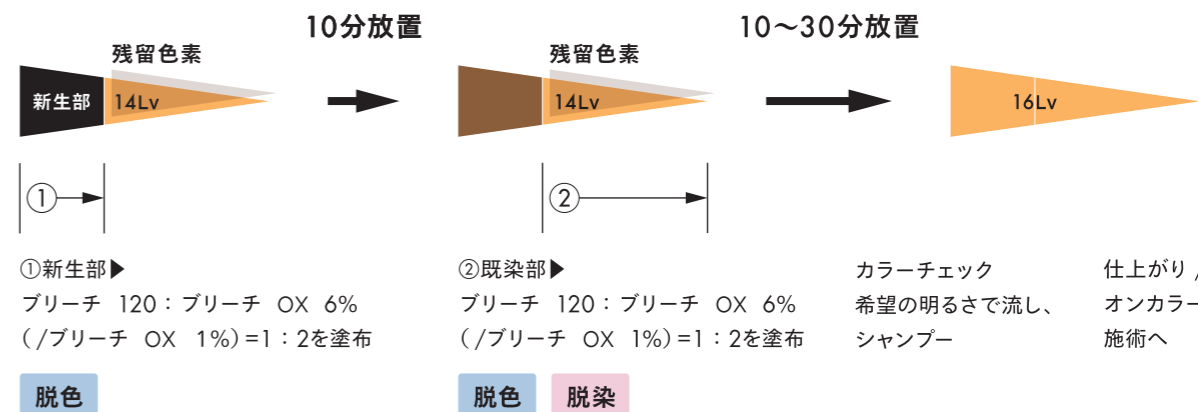
## 新生部(脱色) & 既染部(残留色素の脱染)



CASE.

2

## 新生部(脱色) & 既染部(脱色・残留色素の脱染)



### 脱染薬剤選定目安表

小 ← 脱染力 → 大

| Lv     | 寒色系                            | 暖色系                                     |                                |
|--------|--------------------------------|---|--------------------------------|
| 使用薬剤   | ブリーチ 120 : ブリーチ OX 1%<br>1 : 2 | ブリーチ 120 : ブリーチ OX 6% (/OX 1%)<br>1 : 2 | ブリーチ 120 : ブリーチ OX 6%<br>1 : 2 |
| 対象イメージ |                                |   |                                |

脱染はストランドテストで残留色素の有無を確認し、髪のコンドーションを確認しながら施術を行います。